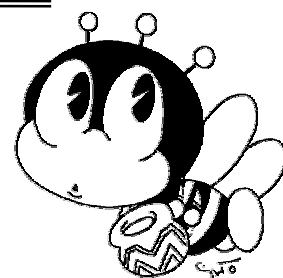


# マナビ通信

米沢鷹山大学本部だより



2009年NHK大河ドラマ「天地人」に決定

上杉の智将 直江兼続について

その



## 兼続ってどんな人

直江 兼続 (なおえ かねつぐ) は、安土桃山時代・江戸時代前期に活躍した人で豊臣秀吉に認められ、徳川家康からも一目おかれた数少ない文武両道に長けた戦国武将・上杉家の家老。

兼続を有名にしたのは、秀吉の死後、家康が豊臣家に難題をぶつけ滅ぼし、天下を徳川のものにしようとした時、謙信以来の「義」により家康に挑戦状を叩きつけた事件によるものです。(詳細は次号以下)

家康は越後から会津に移っていた上杉景勝とその補佐役の兼続を成敗するために小山まで来たが、石田三成(西軍)が家康討伐軍を起こしたため上杉軍とは交戦せずに引き返し、関が原の戦いで西軍を破り勝利しました。

上杉景勝(当時米沢藩主)は兼続を主将として家康側に立った最上家を攻めましたが、西軍が敗れたので米沢に撤退しました。負け戦で引き上げるときは敵の追撃激しく、味方は多くの犠牲を出しますが、兼続がしんがり(軍の最後尾にいて自軍の損害を最小限にして引き上げる役)を見て事に努めたことで、戦後賞賛をあげました。

この戦いで敗れた上杉軍は、会津120万石か

ら伊達信夫・置賜30万石に減封され、多くの家臣やその家族は大変な苦しみを味わいます。膨れ上がった(米沢6千人+直江6千人)米沢の城下町を中心に「まちづくり」・「殖産振興策(開墾・用水・植林等)」・「教育(禅林文庫)」などが兼続の指揮下で行われて、見事な成果を挙げます。その考え方や内容は後年の鷹山の改革にも影響をあたえました。

下記の写真は、直江石堤です。最上川上流の谷地川原に起こる洪水からまちや田畑を防ぐために石積みみの堤を兼続が築いたものです。(つづく)



(文・米沢マナビスト塾 新谷 博司)

## 初心者のための発明・特許セミナー

米沢発明学校

「発明実践例」の講話で、講師は前鶴岡少年少女発明クラブ会長で三川町在住の齋藤武彌氏。コンクリートのふたを楽にあける機材や鉢植えに自動的に水をあげる機材を発明し、商品化されている有名な方です。「簡単に発明はできない。お金もかかりみんな貧乏。人様から喜ばれることが宝。どこでも考えているから、早くやらないとだめ。特許にはこだわらず、まずは、県の発明展に出展して賞をとることを目指すとよい。一人でやっても進まない。仲間と力を合わせ早く完成させること、安値でよいものを目指してほしい。」という内容の講話に参加者は熱心に聞き入っていました。



## 楽しく「ゆかた」

宍戸 裕子 氏

基本は“楽しく着ること”だそうです。タンスに眠っていたゆかたを出して、自分で着て、夏祭りや花火大会、ビアガーデンに出かけましょう。14名の受講者はこの日最終回（4回講座でした）、ブローチ・髪飾り・ストラップなど、思いおもいのワンポイントを帯に付け、とても楽しそうでした。先生からは、写真のポーズ・着ずれの直し方などのお話があり、みなさん熱心に耳を傾けていました。

日本人なので、たくさんの『和』に触れてみたいと思ったひと時でした。



## ふる里の民踊

松本 きよ 氏

先生の名調子のご指導に、思わず手足が動いてしまいます。

民謡「秋田おぼこ」にのせて、今日で3回目とは思えないほど背を伸ばし腰をおろし、シャキシャキとした動作でみなさん踊っていました。

この日は、生涯学習フェアにむけて米沢新調も練習しました。秋田節、東京音頭と順調に進んでおります。民謡を歌いながら、踊るって楽しいですね。



## 市民おしょうしな

「市民おしょうしなカレッジ」の講座のうち今年度新しく始まった講座の様子を取材してお伝えします。



## 親子食育講座

加藤 弥栄子 氏

今回の献立は「豆腐とわかめの味噌汁・えのきときゅうりの和え物」です。参加した子供達は4才～6才位で包丁をもって大丈夫？って感じ、しかし、先生の「上手だね！すごいね！良いぞ、その調子！猫の手だよ」の指導のもと、きゅうりの輪切りをしたり、豆腐を手のひらに乗せて切ったりと大冒険をしている様でした。子供が主役でお母さん達は脇役・助手で、つつい口と手が出そうになるのを我慢し、「こうするんだよ」とジェスチャーをまじえながら楽しい時間をすごしていました。



## とっておきの自己防衛術入門(女性編)

鹿俣 修 氏

取材の日は「基本を学ぼう」で、後ろに倒れる受身・前に倒れる受身・倒されたらどうやって逃げるか・つかまれたらどうやってかわすか等、簡単に優しく本気での指導でした。とにかく頭(顔)を打たないように自分を守るためには日頃の練習(ダイエット・筋トレにもなるそうです)が大切だそうで、とっさの時には体が自然に守りにはいそう。

写真はこてひねりを教わっているところで、コツさえ呑み込めば体の大きい人もいころだそう。



## カレッジ

鷹山大学本部に「市民おもしろなカレッジ」作品展示スペースを設けました。いままでの講座の作品や新しく講座を開設しようと考えている方の作品・生涯学習関連のパンフレットも置いてあります。

## 郵便切手アルバム作り方

米沢郵趣会

「アルバム」ってどんなもの？ どうやって作るの？ 興味津々で講座の3回目を訪ねました。収集した切手持参の参加者全員、生き生きとした表情でうれしそうに作業をしていました。年賀切手、鳥、奥の細道、国定公園などのテーマを自分で決め、そのテーマの切手を選び出して台紙をつけ、バランスよくどのように並べるかアドバイスを受けながら、A4の「リーフ」に貼り付けます。ばらばらだった切手が整理され、素敵なアルバムに変わり、皆さん大喜びでした。切手発行当時の話も弾み、切手は日本の歴史、地理、自然、世相まで映し出す奥の深いものだと認識しました。



前回28号のマナビ通信で作品を展示してみませんか？と声をかけたところ、「おしょうしなカレッジ」で『花セラピー講座』を開いた進藤さんと受講生の方が山形銀行金池支店のロビーに7月3日から1ヶ月間お花を飾ってくださいました。



あなたの作品も飾ってみませんか？  
詳しいことは鷹山大学本部までお尋ね下さい。

平成19年度後期  
米沢鷹山大学ガイドブックに掲載の  
各種講座の募集も終わり、ガイドブック  
を作成中です。9月15日に全戸配布に  
なりますのでお楽しみに。

ひとりごと

鷹山大学本部は置賜総合文化センターの4階にあります。好く晴れた日には吾妻の山々が見え舟坂峠を通る車がキラリと光り、万世普門寺脇の崩している山が痛々しく見えます。向かいの理科センターの窓からは赤湯の葡萄ハウスで覆われている山が見え蔵王までもが見えます。米沢は盆地なんだと思い知らされます。

## シリーズ米沢の食材

### うまい!! だし

「だし」って何？

これって夏の食べ物ですか？家庭の味・おふくろの味でしょうか？

先日のラジオ番組では『庄内地方には「だし」料理はありません。村山・置賜地方の食べ物のようです。』と言っていました。本当でしょうか？鶴岡出身の編集委員の方は米沢に来るまで「だし」を食べた事がなかったそうです。本当なんですね。

「だし」の材料としてはなす・ささぎ・とうもろこし・えだまめ・ピーマン・みょうが・ごま等、採れたての夏野菜がいっぱい入ります。これを食べると夏バテなんて何処かにいってしまいます。ましてやネバネバ系（きざんだ山芋・めかぶとろろ等）を入れるとパワーアップです。



なぜ「だし」と言われるようになったかをご存知の方は鷹山大学本部までお知らせ下さい。

発行：米沢鷹山大学本部  
マナビスト

事務局：〒992-0012 米沢市金池 3-1-14

置賜総合文化センター4階

TEL 21-6111(内線 6423)

FAX 21-6020

ホームページアドレス

<http://yozan.educ.yonezawa.yamagata.jp/>